

1. 件名：福島第一原子力発電所3号機タービン建屋におけるモルタル流入事象への対応状況に係る面談

2. 日時：令和2年3月23日（月）15時05分～15時40分

3. 場所：原子力規制庁 9階会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

知見主任安全審査官、松井安全審査官、田上係員

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクト計画部 担当1名

福島第一原子力発電所 担当1名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社から、昨年12月に発生した福島第一原子力発電所3号機タービン建屋サービスエリアにおけるモルタル流入事象への対応状況について、資料に基づき説明があった。

➤ 背景

✓ 3号機タービン建屋内の海水配管トレンチを閉塞するために充填していたモルタルが、隣接するサービスエリアの建屋滞留水移送装置の工事エリアに流入した

✓ 建屋滞留水移送装置の排水ポンプを設置予定のサンプピットに当該モルタルが流入・固着し、排水ポンプが設置できない状態になった

➤ サンプピットに流入・固着したモルタルへの対応状況

✓ モルタルで固着されたサンプピットの既設水位計を引き抜くことができ開口部ができたため、当該開口部からサンプピット内のモルタルをはつる作業を実施し、排水ポンプを設置するための必要最低限の容量を確保することができた

✓ 今後もはつり作業を継続し、可能な範囲でサンプピットの復旧を行う

➤ フロアに固着したモルタルへの対応状況

✓ サンプピット周辺の床面に固着したモルタルが堰となり、当該フロアの滞留水がサンプピットに導かれなくなった

✓ 今後、遠隔ロボットを用いて床面のモルタルをはつり、滞留水をサンプピットへ導く水路を構築する予定であり、現在はモックアップ試験を実施中である

➤ 工程

✓ サンプピットの復旧作業及び水路の構築作業は、建屋滞留水移送装置設置の当初の工事工程内に完了する予定であり、建屋のドライアップの工程への影響はない見込み

○原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認した。また、今後の進捗状況及び本事象の再発防止対策の検討結果について報告することを求めた。

6. その他

資料：3号機T/B（サービスエリア）におけるモルタル流入事象を踏まえた対応状況について